

2面 地域連携、ハクオウスポーツ

3面 平成29年度決算報告

4面 生まれ変わるキャンパス、教員著書紹介 他

地域貢献と白鷗大学の近未来

学長 奥島孝康



大学の目的は、教育と研究、そして社会貢献である。しかし、社会貢献が指摘されるようになったのは近々30年ほど前のことになり、上岡一嘉初代学長は、当初からこのことを重視してきた。見識である。後発の白鷗大学が生き残る道を探るとすれば、郷土に愛される「大学」でなければならぬ。つまり、郷土で愛されること、そして大学らしい大学であること、という二大条件が必要である。そこで、まず第一に「愛される条件」とはなにか。それはなによりも地域で好かれる人材を供給することであろう。つまり、ゆとりある温かな人物ということであろうか。青白い顔をしたトゲトゲしい人柄ではなく、にこやかに事柄をゆったりと受け止める、余裕と自信をもったスポーツマンタイプのタフな人物像ではないか。北関東の大地にマッチした雰囲気、漂わせ、しつかり者として信頼される人間を育てることが必要である。それは、女学校として「強く、優しく」をモットーに発足した本学の教育そのものも特徴的な性格である。

もう一つの条件、「大学らしい大学」とは、中世のヨーロッパの大学のように、国際的大学の雰囲気につつまれた「若き情熱の学府」であろう。そのため、本学は設立当初から英語教育を重視し、短期留学や交換留学に力を入れてきた。もとより、国際化教育として十分といえるほどの水準に達しているとは言いがたいが、その方向性は本学の基本的性格として固まりつつあると言つてよい。確かに、日本人としてしっかりと教養を身につけ、さらに国際人としての基礎を確立

するということには、そうそう安易なことではない。しかし、日本人らしい日本人というべき中世の坂東武士を生み出した北関東の地盤の上で、国際感覚豊かな人間を育てるという実験は着々とその実を結びつつあるように見受けられる。それは何も大都市圏のみに見られる現象ではなく、北関東という大いなる田舎でも可能であるという新たな実験となるかも知れない。では、本学に可能な地域貢献とは、具体的にどのようなものであるか。例を挙げると、各地に今も残る地域文化の継承であろう。たとえば、伝統文化としての古民家再生街(蔵の街・栃木)、温泉郷(鬼怒川、塩原)や観光地(日光、足利、益子)の整備などは街並みづくりを得意とする学生チームの取り組みテーマとして適している。現地の住民には見えないものが、学生の眼には新鮮に見えるからである。

しかし、なんといつても、大学の社会貢献の主たる方向は、大学の資源の学外開放であろう。すなわち、社会人教育がそれである。もともと、教育も研究もベターワールドの創造を目的としたが、大学の教育力のエクステンションにすぎない。このエクステンション事業といわれるものがいわゆる社会人教育であり、一般にはカルチャーセンター事業などといわれているものである。幸いなことに、わが大学は、東北本線上に位置し、水戸線と両毛線とも交じる上に、駅前メインキャンパスをもつ。まさに、エクステンション事業を予定したかのような位置にある。このメリットを生かさなない手はない。日本はその人口構成からして、きわめて近い将来、本格的な生涯学習時代に入ることになる。近々10年以内はそのことを視野に入れた準備が必要である。しかし、大切なことは、そうであっても本学はあくまで「若き情熱の学府」としての姿勢を堅持する心意気を失わないことである。



1336人の新生を迎え入学式

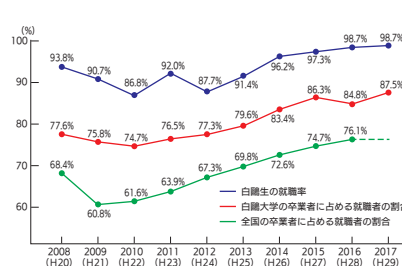
4月1日、大行寺キャンパス第一体育館で平成30年度入学式を挙行了。式辞のなかで奥島孝康学長は「ブルス・ウルトラ」の精神を忘れずに、精一杯この青春を謳歌してください」と新生を激励。大学院生を含む1336人が新たに白鷗生となり、全学で5091人が新年度をスタートさせた。



「小山は第2の故郷」と挨拶する宇野さん

2017年度就職率 98.7%

就職率 過去10年間の推移



小中高教員採用試験合格者数の推移

年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
合格者数	19名	22名	41名	31名	53名	76名
年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計
合格者数	112名	123名	122名	169名	171名	939名



新しくなった本キャンパスのキャリアサポートセンター

平成29年度学位記・卒業証書授与式が3月17日、本キャンパス第一体育館で開かれ、1053人が新たな一歩を踏み出した。大学院・学部卒業生の各代表者に学長から証書が授与されたほか、卒業生を代表して法学部の宇野倫崇さんが「熱い情熱を胸に、5つの大陸に向かって夢をつないでいく」と誓い、閉式となった。

就職率 過去最高の98.7%

キャリアサポートセンターの支援が躍進の原動力

白鷗大学の就職率はここ数年、過去最高を更新し続けている。これは、景気拡大と人手不足を背景に、企業の採用意欲の高まりの反映ではあるが、学生一人ひとりの就職活動の努力が実を結んだ結果である。

進路決定に向け、企業への就職に限らず、公務員や教員など、白鷗生の希望に沿って、入学から卒業まで夢の実現へ向けて支援しているのが「キャリアサポートセンター」である。同センターは、就職活動に必要な会社情報、採用情報、業界研究、自己分析などを整理して提供する「情報提供」、就職活動に向けた講演やセミナーを開催する「支援行事」、1対1で進路選択へのアドバイスを受けられる「個人相談」の3つの支援サービスを柱としている。これらの支援サービスを行っているのが同センターの進路支援課、資格支援課、公務員支援室、教職支援室の4組織である。

進路支援課では年間を通じて様々なキャリア支援ガイダンスやセミナーを開催。130社以上が参加して行われる県内最大規模の学内合同企業説明会も実施している。

資格支援課は、めざす進路に直結する免許や資格取得を支援。社会保険労務士講座や行政書士講座等を学内で開講するなど、受講環境を整えているほか、学内受験や受験料の一部を大学が補助する検定を実施するなど、学生たちの資格取得の一助となっている。

公務員支援室では、官公庁の採用担当者を引き、「公務員業務説明会」の開催や、本試験を想定した面接指導や論文対策も随時実施。その他、大手予備校と提携し、「公務員試験対策講座」も開設。同講座の受講生から毎年多数の合格者を輩出しており、昨年度は115人が合格を果たした。

教職支援室では元校長などの現場経験豊富なアドバイザーが常駐し、採用側の立場から教職教養の補習や模擬授業などの実践的な指導を行っている。

教職支援室のほかにも、教員志望者をバックアップする制度が「スクールサポート」である。これは本学と小山市近隣の教育委員会とが連携して行っているもので、教職希望者が小・中学校に出向き、現職教員指導のもと、週1〜3回程度児童生徒の学習や部活動の支援をするもの。課題発見やめざす教師像の具体化に繋がるなど、参加者からも好評で、教職現場で学んだ成果は、年々増加する教員採用試験の合格実績に表れている。

HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS

硬式野球部が初の全国8強



チームを牽引する主将の龍選手
中京大戦、先制の2点中前通時打を放つ

黒宮寿幸監督は「選手たちはよくやってくれた。この経験を秋季リーグに生かしてもらいたい」と次の目標に向けて進み始めた。

関甲新学生野球1部リーグで2012年の秋季以来、11季ぶり7度目の優勝を挙げた硬式野球部が、第67回全日本大学選手権大会(8年ぶり4回目)に出場し、初の8強入りを果たした。2回戦からのスタートとなった同部は、中京大と対戦し、初戦を3-1勝利。9年ぶりに全国で勝利を収め、8強に名乗りを上げた。



次のリーグ戦に向け、決意を新たにしているメンバー

17日に行われた決勝戦は、序盤は東京医療保健大と一進一退の展開だったが、第二ピリオドから徐々に離され77-87で惜しくも敗れた。個人では、シラソハナファトージャ選手(経営学部2年)が敢闘賞・得点王・リバウンド王を獲得し、神崎璃生選手(教育学部2年)がベスト8賞に選出された。

- ◆女子バスケットボール部
 - ・第52回関東大学女子バスケットボール選手権大会 3位
 - ベスト8賞 上田祐季(教育学部4年)
- ◆男子バスケットボール部
 - ・第67回関東大学バスケットボール選手権大会 3位
 - 優秀選手賞 前田怜緒(教育学部3年)
- ◆硬式野球部
 - ・関甲新学生野球連盟平成30年度新人戦 優勝
 - 最優秀選手賞 京橋幸多郎(経営学部2年)
 - 最高殊勲選手賞 山田啓太(教育学部2年)
- ◆軟式野球部
 - ・北関東大学軟式野球春季リーグ戦 優勝
- ◆剣道部
 - ・栃木県学生剣道大会 男子団体・女子団体 優勝
- ◆少林寺拳法部
 - ・少林寺拳法栃木県大会
 - 大学生女子・大学生男子・大学生団体 最優秀賞
- ◆女子ソフトボール部
 - ・第13回関東学生女子ソフトボール春季リーグ戦 優勝
- ◆ソフトテニス部
 - ・関東学生ソフトテニス2部トーナメント選手権大会 女子 優勝

公式戦試合結果



協定書を取り交わし握手する池田校長と奥島学長

白鷗大学・栃木県立栃木商業高等学校 高大連携協定調印式

本学と県内高等学校の連携協定は鹿沼高等学校、小山南高等学校、小山市立高等学校に続く4校目となった。

栃木商業高等学校と高大連携を締結

栃木県立栃木商業高等学校との高大連携に関する協定を締結する調印式が6月22日、JR小山駅東口の本キャンパスで行われた。相互に連携し交流すること、教育内容の充実と学生および生徒の資質向上を図り、今後社会に貢献できる人材を育成する。これからは大学の授業に高校生を特別

国土交通省、ヤフーと連携 コワーキングスペースを開催

国土交通省、ヤフー株式会社と白鷗大学の共催で「コワーキングスペースサミット2018」が6月18日、オープンコラボレーションスペース「LODGE」(ヤフー株式会社社内)で初めて開催された。これは、コワーキングスペースの運営者やコミュニケーションが一堂に会し、パネルディスカッション形式で行われたもので、各地のコワーキングスペースでの対流事例や課題を共有するとともに、登壇者や参加者同士の新たな繋がりによる対流を促進したもので、会場には、関係者も含め

女子バスケット部が新人戦準優勝

女子バスケットボール部が、第8回関東大学女子バスケットボール新人戦(5月26日〜6月17日)において準優勝を飾った。



初開催となったコワーキングサミット

100名以上が参加し、活発な議論が交わされた。国土交通省は、さまざまなヒトや情報の対流促進の場である「コワーキングスペース」を、イノベーションを創出する「知的対流拠点」と位置付けており、今回のサミットでファシリテーターを務めた経営学部の小笠原伸教授も「コワーキングスペースに限らず、都市の装置として今後は社会的交流を創出する空間は社会に多く求められる」と分析している。

ついにコワーキングスペース「yui nowa(ゆいのわ)」との連携があり、同教授が中心となって運営の助言、支援などを行っている。

物語の舞台は、常に強風が吹く「惑星GALE星」。風に飛ばされないように重



制作した教材用アニメ「風の惑星〜GALE〜」

日本クレジット協会と教材用アニメを制作

一般社団法人日本クレジット協会と連携して、高校生にクレジットの仕組みなどを正しく理解してもらうための教育動画教材が制作された。制作にあたっては、日本の3DCGアニメーションの開拓者の存在で、スタジオジブリのCG長などを経験した菅野嘉則教授の指導のもと、経営学部メディアコースの学生が、ストーリーの企画や脚本、制作を担当した。さらに同教授の呼びかけにより、著名な声優が動画内のさまざまなキャラクターを演じている。

トビタテ！留学JAPAN 派遣留学生に経営学部の2人が選出

文科科学省が主催するトビタテ！留学JAPANの「地域人材コース」を利用した大学コンソーシアムとちぎが実施する「とちぎグローバル人材育成プログラム」に、経営学部3年の小林穂乃香さんが選ばれた。また、群馬県太田市が実施する「新田山グローカル人材育成事業」に経営学部2年の峯崎和佳奈さんが選ばれた。

白鷗大学と交換留学協定を結ぶ台湾の銘傳大に約1年間留学する小林さんは「多くのことを学び、栃木県の魅力を発信できるように頑張りたい」、経営学部海外留学プログラムで、約3ヶ月間カナダのヴィクトリア大に留学する峯崎さんは「語学を学ぶとともに、留学先ではボランティアや聞き取り調査なども行いたい」とそれぞれ抱負を語ってくれた。



カナダのヴィクトリア大に留学する峯崎さん



台湾の銘傳大に留学する小林さん

学校法人白鷗大学 平成29年度決算報告

【事業活動収支計算書】平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

事業活動収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。平成29年度の基本金組入前当年度収支差額は8億1,532万円の収入超過となりました。

(単位:円)

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 教育活動収入, 教育活動支出, 特別収支, and 予備費.

主として入学検定期です。

主として大学への補助金です。

主として高校、中学、幼稚園への補助金です。

減価償却費を含んでいるため資金収支計算書と異なります。

主として有価証券の売却益です。

大学体育館建築に対する補助金1億3,469万円、施設整備への寄付金161万円などです。

平成29年度決算について掲載します。この決算書は法人全体のものです。事業概要 法人創立100周年記念事業の一環である校舎再整備については、大学では既存の東キャンパスに増設する形で新棟と体育館が平成30年2月に竣工しました。平成30年9月からは東キャンパスにおいて経営学部・法学部・経営学研究科・法学研究科の2学部2研究科の学生(白鷗大学全学生の約三分の二)が学ぶことになり、学生生活の中心地が従来の本校舎から東キャンパスに移ることとなります。

キャンパスへ移転いたしました。また、移転にあわせ、キャンパス名の公募を実施し、東キャンパスを「本キャンパス」、本校舎を「大行寺キャンパス」と称することと決定しました。本キャンパスの稼動状況としては、図書館が平成30年4月に既存棟から新棟へ移設しオープンしました。平成30年9月の後期授業開始時には改装した既存棟と合わせて全面利用開始となります。

協定を締結いたしました。さまざまな講座の講師の派遣、地域振興及びびまづくり、地域人材育成、教育の振興などで自治体と協力し、今後とも地域社会に貢献してまいります。 事業活動収支としては、収入面では学生生徒納付金が前年度比2億43百万円増加し61億91百万円となりました。経常費補助金も前年比65百万円増加し12億円となりました。一方、費用面では、教育研究経費が大学体育館の取り壊し費用などもあり2億14百万円増加し31億24百万円、管理経費が50百万円減少し6億84百万円となり、本業である教育活動の収支状況を表す教育活動収支差額は50百万円増加し、2億15百万円となりました。

大学の体育館建築に対する補助金1億3,469万円等あり、特別収入が2億77百万円増加したこと等から、基本金組入前当年度収支差額は、4億4百万円増加し、8億1,532万円となりました。 資金収支としては、大学の東キャンパス建築資金を中心に施設関係支出が12億11百万円増加し47億1,200万円となったため、特定資産を取り崩すと共に15億円の借入を行いました。その結果、翌年度繰越支払資金は、49百万円増加し、33億3,906万円となりました。 貸借対照表としては、東キャンパス建築による建物の増加を主として、有形固定資産が41億9,200万円増加しました。一方、東キャンパス建築資金支払のため、第2号基本金特定資産を取り崩したことにより、特定資産は19億6,400万円減少しました。固定負債は、借入金等により10億6,000万円増加しました。

【貸借対照表】平成30年3月31日

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・繰越収支差額の状態を表現して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「正味財産」は前年度より8億1,532万円増加し、348億2,089万円となりました。

Table with columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部, 負債の部, 純資産の部.

土地と図書以外の有形固定資産については、減価償却累計額を控除して表示しています。

大学の校舎建築による増加です。

大学校舎完成に伴い、建物に搬入した。2020年3月31日現在、2020年度の校舎完成に伴い22億円を取崩しました。

将来取得する固定資産に充てる金銭の類で今年度大学の校舎完成に伴い22億円を第1号基本金へ振替えています。

大学の校舎建設に伴い15億円の借入れを行いました。平成30年度返済予定額5億円を短期借入金へ振替えています。

固定資産の維持取得に係る基本金です。

将来取得する固定資産に充てる金銭の類で今年度大学の校舎完成に伴い22億円を第1号基本金へ振替えています。

必要な運転資金維持に係る基本金です。

【資金収支計算書】平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

資金収支計算書は、一年間の収入・支出ごとの資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。資金収支の総額は181億4,778万円であり、平成30年度への繰越支払資金は33億3,906万円となっております。

収入の部 (単位:円)

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 学生生徒等納付金収入, 手数料収入, 寄付金収入, 補助金収入, etc.

有価証券の売却収入です。

大学校舎建築資金としての借入です。

主として平成30年度入学者の入学金、授業料等の学生納付金です。

主として特定資産の償還収入です。

支出の部

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 人件費支出, 教育研究経費支出, 管理経費支出, etc.

主として大学校舎建築資金の支払です。

主として大学新校舎機器備品の支払です。

特定資産の償還に対する代替購入によるものです。

(注) 資金収入調整勘定及び資金支出調整勘定について

学校法人会計における資金収支計算の目的は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容当該会計年度における支払資金の収入及び支出とそとの年末を明らかにすることとされています。そのため収入・支出ともに調整勘定が設けられています。なお、資金収入調整勘定には期末未収入金及び前期末前受金、資金支出調整勘定には期末未払金及び前期末前払金を計上しています。

本キャンパス新棟・体育館完成



3フロアからなる図書館

法人創立100周年記念事業の一環で、JR小山駅東口前のキャンパスに新棟と体育館が完成した。地上8階建ての新棟1階には9月から営業を開始する予定の学生食堂が入り、在学だけでなく一般の方も利用できることできる。そのほか、スポーツやイベントなど学生たちが自由に活動できる「アクティブスペース」も設置した。2階から4階まで吹き抜けの図書館には、経営と法律の専門書が並ぶほか、個人やグループなど様々な学習形態で利用できるラーニング・コモンズやソファなどが置かれたくつろげる空間も充実している。7階には、同窓会組織である「鷗友会」の専用スペースが完成。コ

室が設けられ、卒業生の交流がより活発になることが期待されている。新棟に隣接する2階建ての体育館は約1300人を収容することができる。授業や学生団体の活動だけでなく、学内外のイベントでも利用される予定だ。9月までに経営学部が移転し、後期授業からは経営学部と法学部の学生約3000人が学ぶことになる。また経営学部の移転に先駆け、今年4月に大学本部が駅前に移転したことを機に、キャンパス名を「本キャンパス」、従来の「本キャンパス」は所在地名を冠し「大行寺キャンパス」とした。



9月オープン予定の「かもめ食堂」



多目的に使えるHAKUOH ARENA



JR小山駅東口より徒歩1分の本キャンパス



2019年秋以降の大行寺キャンパスイメージ

大行寺キャンパスの再編始まる

教育学部を中心に学ぶ大行寺キャンパスの再整備が今夏から始まる。昨年からの第二体育館の取り壊しや加藤澤男記念体操場を新設してきたが、JR小山駅東口前の本キャンパスが完成したことを受け、大行寺キャンパス再編計画が本格化する。1・4号館を教室棟から実習棟に変更するほか、1号館アネックス2階の大教室はダンス室に改修するとともに、旧短大校舎で老朽化した5号館から10号館までを取り壊す。正門付近のバスロータリーも利便性に合わせ、改修する。そのほか、2号館2階には教職支援室と実習指導室を配置し、教員をめざす学生に一貫したサポートを提供するフロアとなる。2019年秋までに工事を終える予定で、教育学部の学びの拠点に生まれ変わる。

教員人事

【退職】 (平成30年3月31日付)	経営学部 特任教授 新井佐恵子	教授 今井一雄	教授 堀真由美	講師 Wayne Sumida Michael Morgan	法学部 教授 石村耕治	教授 鈴木孝之	教授 比護正史	教授 比山節男	教授 富田英也	【新任】 (平成30年4月1日付)	経営学部 教授 力石正弘	講師 Stephanie Yuko Iso Neil Thomas MILLINGTON
-----------------------	-----------------------	------------	------------	--------------------------------------	-------------------	------------	------------	------------	------------	----------------------	--------------------	--

法学部 教授 伊藤 悟	准教授 栗田 誠	教授 清水 潤	准教授 工藤 哲夫	教授 新谷由里子	講師 森 好紳	【昇格】 (平成30年4月1日付)	経営学部 講師 鈴木 仁里	准教授 蓮田 哲也	教授 松原 和彦	教授 茂木 明奈	教授 渋谷 美紀	准教授 宇津野 花陽	教授 濱崎 裕介	講師 網野 友雄
-------------------	-------------	------------	--------------	-------------	------------	----------------------	---------------------	--------------	-------------	-------------	-------------	---------------	-------------	-------------

教員著書紹介

- 憲法のこれから (別冊法学セミナー; No.247. 新・総合特集シリーズ; 8)
岡田順太 (法学部教授 [ほか] 著 2017年7月刊/243頁/日本評論社/2,052円
- なんて、「あんな奴ら」の弁護ができるのか?
村岡啓一 (法学部教授) 監訳 2017年8月刊/303頁/現代人文社/3,456円
- 「Web教材制作演習-デジタル教科書&アニメーション」
黒澤和人 (経営学部教授) 著 2017年12月刊/146頁/丸善プラネット/2,160円
- レントゲン (コミック版世界の伝記; 39)
岡田晴恵 (教育学部教授) 監修 2018年3月刊/126頁/ポプラ社/1,026円
- 「これからの情報科学」
師啓二、樋口和彦、船田真里子、黒澤和人 (いずれも経営学部教授) 著 2018年4月刊/312頁/学文社/3,132円
- プリッツブック法システム入門 [第4版]-法社会的アプローチ
平山真理 (法学部教授) [ほか] 著 2018年6月刊/367頁/信山社出版/2,916円
- 「10代に語る平成史」
後藤謙次 (経営学部特任教授) 著 2018年7月刊/256頁/岩波書店/972円